

# 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

大橋 正孝

静岡県 暮らし環境部 環境局  
自然保護課

対象鳥獣  
二ホンジカ

活動地域  
静岡県

事業内容

林野庁 森林保護管理（獣害）研修（平成27・28年度）

事業の背景

生息頭数の増加や生息範囲の拡大に伴い深刻化する二ホンジカによる森林被害を抑制するため、これまで地域の狩猟者のボランティア精神に依存して行っていた捕獲が2014（平成26）年度林野庁の環境林整備事業、2015（平成27）年度環境省の指定管理鳥獣捕獲等事業の開始により公共事業化され、事業主体となる国や県等の行政職員が事業として適切に捕獲を設計、監理することが求められている。

依頼を受けて実施した内容

本事業は、総合的かつ戦略的な二ホンジカの捕獲を事業設計し、監理・監督するための捕獲に係わる知識や技術を習得することを目的として、都道府県職員、森林管理署職員及び森林総合監理士を対象とした人材育成事業である。具体的な研修内容※1は、以下の4つの講義と実技である。

- 科学的戦略的捕獲と事業として進める上での留意点
- くくりわなによる捕獲※2と安全管理
- くくりわなによる捕獲実習（製作、設置、保定・とめさし）
- 捕獲したシカを用いたシカの生理生態的特徴（痕跡含む）と有効な防除・捕獲技術

※1：銃による捕獲技術、安全管理については、他捕獲コーディネーター（八代田千鶴氏、岩崎秀志氏、早川五男氏）が講義指導を行なった

※2：首くくりわなによる捕獲やプリチャージ式空気銃及び電気によるとめさしなどの新技術を含む



写真1：わな捕獲のルール、構造について説明



写真2：保定・とめさしの実演とシカの生理生態を説明

研修者一人一人がわなの一部や保定用の器具を自分で製作し、また、実際にそれらを使った捕獲及び保定・とめさしをする現場に立ち会い、さらに、捕殺したシカを用いて歯（食痕の特徴、年齢判別や噛み切られにくい有効な防除網等の仕様について）、足（痕跡の特徴）、体毛（シカの毛の特徴）、生殖器の確認によるオスメスの判別方法等を学ぶことで捕獲や安全管理についてより実践的な知識、技術の習得に繋がった。この結果を受けて、長崎県他において、新規事業化及び新技術の導入にも繋がっている。